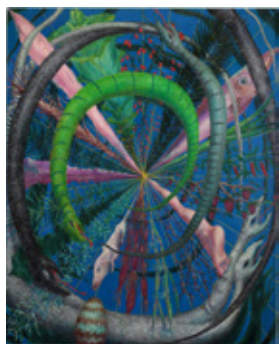




結局、私はいろいろふまえながら「良い絵」「まだ見ぬ何か」を目指して制作している。といつつ要は制作することによってアイデンティティを形作ろうとしているのだろう。最初期の当たり前の問いに再び戻った感じだ。制作を続けるという事は、人生を続けるという事でもあり、新たな経験や新たな考え方に触れ（最新の、という意味ではなく）、それらをこれまでの自分に集約することで成長や展開につながる。「まだ見ぬ何か」を求めて作品を展開するとき、これまでの延長線上にある方向性や作品から導き出される必然的な次作とは異なり、あらためて自分に向き合う必要が出てくる。今回の作家たちは、その展開の仕方が興味深い。設楽知昭の絵画には独自の筆致が欠かせない。その時その時、自身の興味を貪欲に取り入れ筆致に集約する事で、まったく別物のような展開であっても設楽作品として立ち現われる。キャンバスに油彩という基本的な素材だけでなく、趣味性の高い楽器や古い生活雑貨を支持体したり、時間や光を取り入れたりもする。興味や趣味という私的な追求をギリギリ通り越して、未来の公共性に向かっている。秋吉風人は制作方法を入念に計画し実行することによって、絵画を描くうでの自由を獲得する。さらに「まだ見ぬ物」を描くために、自分自身を裏切るための仕組みを準備する。が、準備された「裏切るための仕組み」さえ裏切ろうとする制作姿勢には舌を巻くしかない。シリーズごとに別人のようなアプローチをみせ、作者性を否定しつつ、秋吉にしかできない展開として提示される。彼らが見せる作品の展開は、作者自身をも置いてきぼりにするほど、飛躍したり別の文脈を備えたりしている。そのあり方に、同じ作り手としてとても興味が湧くのだ。

佐藤克久

美術家／本展企画者
佐藤克久 Kazuhisa Sato
1973年広島県生まれ。愛知県在住。
活動初期は概念的な立体や写真作品などを発表。近年では絵画形式を中心に制作活動を行っている。主な展覧会に「絵画の現在地」(札幌大通地下ギャラリーSOMA美術館、2018年)、「あさちトリエンナーレ2016」(名古屋市美術館、2016年)、「反重力」(豊田市美術館、愛知、2013年)、などがある。
「絵画の何か」シリーズの企画も務める。
satokahisa.jimdo.com



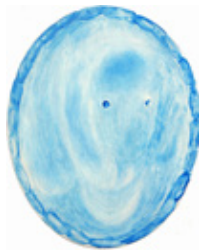
1



2



3



4



5

6

- 1 《毎日、尻尾を食べていた》2011
- 2 《鏡(モノタイプ・石膏刷り)》1986
- 3 《二人ノ片腕ノ私ガ手ヲ洗オウトスル》2001
- 4 《絵の青い鏡》2006
- 5 《目の服(青)》1993
- 6 《凸面鏡―臉と心臓と鏡―》2016

Minatomachi
POTLUCK
BUILDING 3F
Exhibition Space

前期 設楽知昭
2019年1月22日(火)―
2月16日(土)

後期 秋吉風人
2019年2月19日(火)―
3月16日(土)

11:00-19:00
(入場は閉館30分前まで)

休館日 日曜・月曜・祝日
入場 無料

ポットラック・パーティー
(持ち寄り歓迎・自由参加)

前期 2019年1月26日(土) 19:00-
後期 2019年2月23日(土) 17:00-

企画 佐藤克久
Minatomachi Art Table, Nagoya
[MAT, Nagoya]

主催 港まちづくり協議会

協力 不忍画廊
Standing Pine
TARO NASU



港まちづくり協議会
JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN

SOMETHING
OF
PAINTING
Part 3

Talking about Painting

絵画の夕べ

同時代を生きる人びととともに、絵画について対話するトークイベント。
アーティストや美術館学芸員、専門家などをゲストに迎えます。

●オオギリ

愛知県立芸術大学で教鞭を執る設楽知昭と、美学を専門にする秋庭史典が話し手となり、2011年より研究室内で不定期開催していた座談会「オオギリ」。今回は本展にあわせ、一般公開します。「絵画という営み」を軸に、日常的なトピックから「なぜ絵画を描くのか?」という本質的な問いまで、来場者とともに思考をめぐらせます。

スピーカー 会場 Minatomachi
秋庭史典 POTLUCK
(美学者/名古屋大学准教授) BUILDING 1F:
Lounge Space
設楽知昭 参加 無料
2019年1月26日(土) 定員 30名(予約不要)
17:00-19:00

●アーティストトーク

秋吉風人の作品や制作活動を振り返るトーク。名古屋で学生時代を過ごした秋吉が参加していたアーティストトランススペース「dot」の活動や、2010年より7年間滞在したベルリンでの制作、また今年発表された新しい作品シリーズなど、これまでのアーティストとしての活動についてお話を伺います。

スピーカー 会場 Minatomachi
秋吉風人 POTLUCK
2019年2月23日(土) BUILDING 1F:
Lounge Space
15:00-17:00 参加 無料
定員 30名(予約不要)

●絵画の何か・ラウンドテーブル

東海エリアを拠点に、絵画制作をするアーティストたちとともに「絵画」をめぐるさまざまなトピックを取り上げ「絵画の何か」について議論するテーブルをつくりまします。「制作・発表・教育・環境・地域性」など複数のテーマを軸に、キャリアや年代を問わず、広くオーディエンスにも公開し、問題・課題を共有する場を目指します。

2019年3月9日(土) 15:00-18:00
会場 Minatomachi POTLUCK BUILDING 1F:
Lounge Space
参加 無料(予約不要)

※スピーカーなど詳細は決まり次第、ウェブサイトなどでお知らせします。

同時開催

「み(ん)なとまちでなにをする?展」

港まちづくり協議会のビジョン改訂を機に、港まちのこれまでとこれからについて考える展覧会を行います。

2019年

1月26日(土) - 3月16日(土)

会場 Minatomachi

POTLUCK BUILDING

2F: Project Space

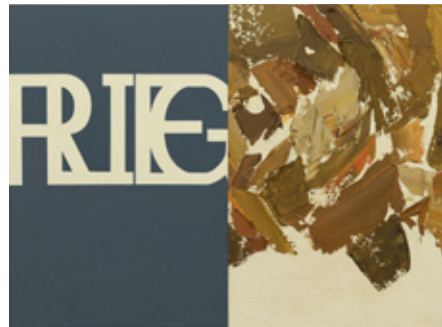
秋吉風人 Futo Akiyoshi
アーティスト

1977年大阪府生まれ。愛知県在住。名古屋芸術大学大学院を修了後、大阪、ベルリン、愛知と拠点を移しながら、世界各地で作品を発表。描くという行為への執着と共に「絵画」という概念の解体と再構築を実験的に続け、複数の絵画シリーズとして展開している。主な個展に「We meet only to part」(TARONASU、東京、2018年)、「All for One」(SEXAUER、ベルリン、2018年)、グループ展に「あいちトリエンナーレ2010」(愛知芸術文化センター、2010年)、「絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から」(国立国際美術館、大阪、2010年)などがある。2018年より、名古屋芸術大学准教授を務める。

www.futoakiyoshi.com

www.taronasugallery.com

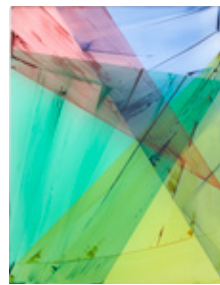
- 1 《6.17 / 7.17》2018
- 2 《naked relations》2016
- 3 《naked relations》2016
- 4 《Room》2012



1



2



3

SOMETHING OF PAINTING

Part 3

前期 設楽知昭

2019年1月22日(火) -

2月16日(土)

後期 秋吉風人

2019年2月19日(火) -

3月16日(土)

11:00-19:00

(入場は閉館30分前まで)

休館日 日曜・月曜・祝日

入場 無料

ポットラック・パーティー
(持ち寄り歓迎・自由参加)

前期 2019年1月26日(土) 19:00-

後期 2019年2月23日(土) 17:00-

MAT Exhibition vol.7

絵画の何か Part 3

www.mat-nagoya.jp

港まちポットラックビルでは、これまで2015年、2017年と2回に渡り「絵画の何か」と題した展覧会/トークシリーズを開催し、この地域を中心に大きな反響を得てきました。愛知はこれまで数多くの優れた画家を生み出してきた地域であり、多くの来場者とともに「絵画の何か」について考える有効な機会でしたが、「絵画の何か」についての明確な「何か」が答えとして見出されるわけではなく、この「問い」はこれからもなお続きます。継続的なシリーズの展開として、「絵画の何か Part 3」を開催します。そもそも絵画とは、画面のなかで世界を成立させながらも、社会との接点や、ものごとを多角的に捉える視点など、外部との繋がりを模索してきた表現だとも言えるでしょう。本シリーズ企画者である佐藤克久は、この地域で制作活動が続けるアーティストの1人として、現在の絵画における「危機感」やその「広がり」についてを問題意識として提示してきました。今回はこの地域をベースや関わりとしながら画家としてまた教育者として、それぞれの活動を展開してきた2名の画家にそれらの問題意識を投げかけ、引き続きこれからの絵画への可能性を探ります。本展では会期を前期後期に分け、それぞれ個展形式で作品を展示します。また会期中には、トークなどのイベントを開催し、本展シリーズを読み解き、絵画を思考する場をひらきます。

港まちポットラックビル Minatomachi POTLUCK BUILDING

〒455-0037

名古屋市港区名港1-19-23

(港まちづくり協議会事務局内)

TEL 052-654-8911

FAX 052-654-8912

E-MAIL info@mat-nagoya.jp

WEB www.mat-nagoya.jp

*名古屋営地下鉄
名港線「築地口駅」
2番出口より徒歩1分

